

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 12 月 19 日(木)15:30~16:45

場 所： 桜山会館

出席者： 9 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談
 - (1) 主要施策の取組状況について 資料①参照
 - (2) 自由懇談
4. その他
 - ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
 - ・資料③参照 紙の保険証の発行について
 - ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて
5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■栗山高校生向けの町営バスについて

- 町 民 栗山高校から継立方面に向かう良い時間帯のバスがない。今は、栗山高校に 17：19 のバスがあるが、大体、高校の授業が終わるのが 15：00 過ぎ。それまで約 2 時間、時間をつぶす場所もないし 2 時間無駄に過ごすことになる。栗山高校の生徒が乗れるバスがなく不便なのでバスを出すことはできないのか。
- 町 長 町営バスは全町的に走っていた中央バスの路線を引き継いで運行している。栗山高校の下校時間から、間が空いていると思っている。随時要望を聞きながら運行をしているが、特に 234 号を走らす部分については、民間バス事業者と競合しており、民間の経営を圧迫させかねない。随時見直しをしているので、取り入れられるか分からないが持ち帰って検討したい。

■クリエイターズマーケットについて

- 町 民 駅前に物を作って売っているところがあるがあったが、まだやっているのか。家賃が無駄なので、くりふとに移ったほうがいいと思うが。
- 町 長 クリエーターズマーケット、町内外の登録されているクリエイターがオリジナルの作品を展示販売しており、店番も交代でやっている。制作する作品の一つは栗をモチーフにしたもの作ってもらっている。関係人口を増やし交流してもらって移住定住に結び付けたい。売り上げが目的ではなく、関係人口の拡大が目的。町が支援しているには家賃。くりふとは、来館者数が昨年 3 万人、今年は半年間で 2 万 5 千人となり去年よりかなり多くなっている。将来的には、くりふととクリエイターズマーケット、この他にも、旧岡島商店が、町の職員が商店街の活性化や観光振興を進める事務所になっているので、その辺を一体的にどうしていくか議論をしているところ。

■くりふとについて

- 町 民 くりふとについては、そんなに人なんて集まらないとおもっていたし、なんでそんな無駄なことするのだろうと思っていたが、来館者数をきいて安心した。テレビであまぐりが放映されていた。食べてみなきゃと思って行ってみた。売り切れていて買うことはできなかったがこうやって人は集まるんだな、いい施設を作ったなと思うようになった。オリンピックで、スケートボードが非常に注目されており、子どもたちも興味を持っている。ここらへんにはないスケールのコースを作ったら、札幌とかからも親子さんが子どものため来てくれると思うが。
- 町 長 くりふとについては、来場者数をみると町でも良かったなと思っている。くりふとは、単体で作っているわけではなく中心市街地全体の都市再生整備計画という事業認可を国土交通省からいただいて、町道も元町通や栄町通など7、8本直している。本来であれば単体だと10年から15年はかかったものを短期間でやった。道路整備し、環境整備を行って拠点となる施設を都市再生整備の認可を受けるのに必要だった。拠点施設としてくりふとがなければ道路整備や環境整備ができなかった。全体の計画の中では施設が必要だったということと、新築するとなると14、5億かかっていた。農協から倉庫を譲渡していただいて3億程度の事業費でできた。それだけの事業費をかけているので本町の賑わいの拠点としてふさわしい施設として内容をよくしていきたい。子どもたちや若い人たちにも、くりふとに活用してもらいたいということで付帯設備としてスケートボードパークを作った。効果も出ており、町にスケートボード協会ができ、年間という結構なイベントが開催されている。位置づけとしては初心者向けとしている。人を呼べるような上級者向けとなると室内になってしまう。今のスケートボードパークは職員や全国で普及に携わっている方の手作り。そういった温かみも感じていただきながら気軽に楽しんでいただきたい。

■栗山赤十字病院について

- 町 民 今は由仁の診療所に行っている。栗山赤十字病院にはあまりいい印象がなかったが期待している。診療科目が多くなればいいと思っており、若い人のことを考えれば婦人科とかが週に1回でも来てくれれば安心できると思うが。
- 町 長 日赤病院については現在診療科目が12科あり、それを維持継続していく。常勤の医師が6名。北大からの派遣医師が16、7人。このくらいの人口規模で維持しているのは栗山赤十字病院しかない。診療科目は増やせないかもしれないが診療時間を延ばすなどの協議はしていきたい。婦人科は南空知管内でも岩見沢に一つしかないが、全体の医師を占める割合も5%しかおらず全国的に足りていない。難しいことだが、栗山赤十字病院と意見交換していきたい。

■熊の駆除について

- 町 民 熊駆除の関係が報道されているが、町と猟友会の関係はうまくいっているのか。
- 町 長 町と猟友会の関係は良好。熊の出没が多くなっているので猟友会の皆さんにはご苦労をおかけしているが、出没した際には町と猟友会、警察、関係機関含めて対応できるようにしている。また、今まで一頭駆除2万円だったが12月の議会でも5万円に拡大し、出動手当も危険なため増額した。今年は山が豊作だったため熊が人里に下りてこなかったが、去年は多く出没した。また多くなる可能性がある。何とか地域の安心安全を守っていきたい。

■小学校の統廃合について

町 民 小学校の統廃合の問題はどのようになっているのか

教 育 長 PTA、地域に、統廃合ではなくて、将来どういう適正な学校にしていったらいいだろうかということで学校教育を語り合う会を行った。その後、適正配置検討委員会というのを設置した。そこには私の意見で左右されてはならないので入っていない。座長に有識者をたてていて、公平に意見をまとめていただいた。その意見についてはホームページにすべて公開している。受けた意見を町に報告し、町として議会の一般会議に報告している。教育委員会としては、PTA、児童、地域、団体、自治会、町内会、有識者の意見を集約しているので、その意見をもって教育委員会のスタンスとしている。意見の内容は、一刻も早く統廃合してもらいたいと。将来に向けては、しっかりとした学校を建て直していただきたいという意見が出ていた。町としては、さまざまな事業をしているので、統廃合というところに集中させていただきたいというのが今段階での意見。

町 民 3校が1校になる時期や場所は決まっていないのか。統合の後は小中一貫になるとホームページに書いていたが。

教 育 長 令和9年に栗山小学校に、というところまでの意見をいただいている。小中一貫は、分離型で進めており、まずはそこを目指したい。3校が集まるといった時にまずは集団を重んじていきたい。キャリア教育という、自分の目標、自分の居場所を持てるよう子どもたちを育ていこうと進めている。